

# 三条南ロータリークラブ週報

## Sanjo Minami Rotary Club



2011.12.12  
No.2019  
No.19



出席率	会員49名中34名
先々週の出席率	95.74%
先週の メイクアップ	12/6 三条北RCへ 坂井範夫君 12/7 地区GSE会議(新潟)へ 安達 裕君 12/7 三条RCへ 荒澤威彦君 野島廣一郎君 野中 悟君 野崎正明君 佐々木常行君 高橋祐介君 坪井正康君 吉井正孝君 12/10 鈴木がバナ-ル外渡米壮行会(長岡)へ 馬場信彦君 荊澤喜一郎君



### 会長挨拶

三条南ロータリークラブ 会長  
鈴木 園彦

皆さん、こんにちは。ご挨拶申し上げます。

今日は、「町おこし」についてお話をさせていただきます。

三条市で昨年からはじめた「マルシェ(市場とか人が集まる所)」。7月末の三条水書前の7月9日(土)、五十嵐川 嵐北側の河川敷を中心に催されました。36℃のとても暑い日でしたが、朝から大勢の人達が集まりました。また、10月10日の体育の日には、本寺小路~昭栄通り~ノ木戸商店街の区間で行われ、過去最大規模になり、6万人以上の人達でお祭騒ぎの賑わいとなりました。

全国各地で一昔前位から時代の流れの中、町中の各商店街の衰退と連動して、こうした「町おこしのイベント」が行われるようになりました。

今日は、こうした「町おこし」の中の成功例の1つとして、城下町 村上についてご紹介致します。

**村上の春**、今年で12回目の『町屋の人形さま巡り』は、3月1日~4月3日までの約1ヶ月間催されました。主催は12年間変わらず「村上町屋商人(あきんど)会」、参加店は76軒。種々のお店の中でも

#### ○九重園(お茶屋)

大名行列等の人形が多数飾られます。このお店の社長さんは、村上RCで会長も務められた現在最年長メンバーでいらっしゃいます。

町屋の建物も一見の価値があります。老舗の店屋の造り、今では貴重な建物です。三条で、また、お店にお邪魔し、これまで何回もお話を伺わさせていただいています。

○**垚ッ川店** 鮭料理品販売店。裏の仕事場も見学ができます。

○**吉 源** 老舗の料亭。故吉田昭平パストガバナーのお店です。吉田パストガバナーは、村上RCのミスターロータリアンと呼ばれ、2回ガバナーを務められ、残念ですが昨年亡くなりました。10年前、1回目の幹事を務めた折に、離れて食事をご一緒させていただいたことが懐かしく思い出されます。

### 四つのテスト

一言行はこれに照らしてからー

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるか どうか



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー会長 カルヤン・バネルジー [インド]  
 第2560地区ガバナー 石本隆太郎 [新潟]  
 第4分区AG 山田文雄 [見附]  
 会長 鈴木園彦  
 幹事 熊倉高志  
 S A A 吉井正孝

事務局 〒955-8666 三条市旭町2-5-10

#### 三条信用金庫 本店内

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL http://www.sanjo-minami.jp



**村上の夏、『村上大祭』**が7月6日、7日の二日間行われます。村上市羽黒町にある羽黒神社の例大祭。村上市三大祭り（9月の瀬波大祭、10月の岩船大祭）の一つであり、新潟県三大祭の一つでもあります。寛永10年（1633年）、378年前から始まったと伝えられています。

特徴は、“おしゃぎり”と呼ばれる屋台(ダン)。

昔の町人町に存在し、19町内、計19台の“おしゃぎり”があり、一番久保多町（囃子屋台）、二番大町（しゃぎり屋台）～十九番泉屋台（仁輪加屋台）が市中を練り歩く光景は見事で、市外はおろか県外からも観光客を集めています。7月6日午後から各町内の屋台が各町内を練り歩き、7月7日真夜中の午前1時に一番おしゃぎりが出発、その後、全19町内の屋台が羽黒神社前に集まり、午前8時から午後10時頃まで練り歩きます。

また、“おしゃぎり（屋台）”は新潟県無形民俗文化財に指定されており、彫刻と村上の伝統の堆朱を施した豪華で美しく、きらびやかなつくりの屋台です。高さは約5m、車輪の大きさは直径2mもある大きなものです。二階建てになっており、一階、二階と各々人が乗り、祭囃子を演奏します。

**村上の秋**、今年で11回目の『屏風祭』が9月15日～10月15日の1ヶ月間催されました。主催は春の『人形さま巡り』と同じく「村上町屋商人会」。城下町村上にはタイムスリップしたような「町屋」と呼ばれる伝統的な家屋が今も数多く残っており、江戸時代からの先祖伝来の屏風を飾り公開しています。どの参加店へ行っても丁寧に屏風の説明をし、町屋の内部を見せてくれます。城下町の格調高い町文化を楽しめる魅力的な催事となりました。



写真は、村上市観光協会ホームページより

最後に一つ、「会員増強」についてのお願いです。この問題は、ロータリーの永遠のテーマです。諸般の事情で我がクラブも会員の減少が見られます。私も増強に努めるべく、お寺様、農家、自営業、美容院と回っておりますが、なかなか結果が付いてまいりません。どうぞ、会員増強委員会にお任せ・・・でなく、一人一人の問題として捉えていただければと思います。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

## 地区役員委嘱状伝達



- 馬場信彦会員  
地区諮問委員・地区ガバナー指名委員  
規定審議会副代表議員
- 佐藤嘉男会員  
地区新世代奉仕委員会  
青少年交換委員会 委員

# ニコニコボックス

NIKO-NIKO BOX

～12月12日 19,175円  
今年度累計 447,175円～

**鈴木(囿)君** 本日の卓話、銅冶先生 ご苦勞様です。よろしくお願ひ致します。

**熊倉君** 銅冶先生、卓話楽しみにしております。

**銅冶君** 本日、卓話当番です。よろしくお願ひ致します。

**赤塚君、坂井君、西巻君、野崎君**  
銅冶先生、卓話ご苦勞様です。楽しみにしております。

**馬場(信)君** 昨日、鈴木会長、熊倉幹事と10時から16時頃まで、豪邸の見学に行ってきた。設計は熊倉幹事で、計算され尽くした見事なものでした。会長さん、幹事さん大変お世話になりました。

**滝口君** 目の手術をやったが、2週間風呂にも入れず、お酒も飲めなかった。今日から飲んでもいいことになりバンザイ!

菲澤君 12/10鈴木がバナー以外の渡米壮行会に出席して参りました。銅冶先生、卓話ご苦労様です。

鈴木(武)君 寒くなりましたが、懐は温かくしています。(??代弁です。)

安達君、飯山君、大溪君、草野君、馬場(一)君 BOXに協力致します。

平松君 委員会でご一杯で何時間もねばり忘年家族会の打合せをしました。その時のおつりを、来週は素晴らしい夜になること間違いなしの太鼓判をつけてBOXに協力致します。

丸山(征)君 久しぶりのニコニコ担当です。銅冶先生の卓話は胃腸の話かな? でなかった、医学の歴史だった。

Speech



卓話

## 「医学の歴史・・・医学の原点を知る」

銅冶康之会員

ーギリシャ神話を中心にー



医学は、人間の「慰めと癒し」の技術であり、学問である。

慰め (ietros) 癒し (medicine) とラテン語で言います。

医学のもと恒温動物(鳥類や哺乳類)の毛づくろいが「慰めと癒し」の原型と言われています。古代の母親が、小川の水で病気の子供の頭を冷やす行いは、看護の起源であり、このことは医学の起源でもあります。

原始社会の医師は、一人で医師、僧侶、呪術師を兼ねており、シャーマン・巫みこと言われていました。それぞれの文明には治癒神が存在し、その神と人を媒介したのがシャーマンであり、巫でした。

日本において最も古い巫は卑弥呼でしょう。卑弥呼は「魏志」倭人伝に記述されている邪馬台国の王ですが、この「ひみこ」という名前は、日(太陽)

の巫であったものが魏により「卑しいと広(弥)く呼ばれる」という漢字に変えられた可能性が高いと考えられています。日巫は、邪馬台国の王であり、医師でもあったのです。

日本では「病から守るための神」和(わ)豆(ず)良(ら)比(ひ)能(の)宇(う)斯(し)の神という治癒神がいますが、世界的に有名な治癒神と言えば、ギリシャ神話に出てくるアスクレピオスです。

治癒神 アスクレピオスは、ゼウスの子である太陽神 アポロンとテッサリアの領主 プレギュアースの娘 コローニスとの子です。

ある日、泉で入浴中のコローニスと出会ったアポロンがコローニスを寵愛し、コローニスは身ごもります。多忙なアポロンは、なかなかテッサリアへ出向けないため、当時は純白の羽をしたからす鴉(鳥)をアポロンの使いとして送りました。ある時、テッサリアに舞い降りた鳥は、コローニスと若いイスキュスという男が不義密通をしているのだと勘違いをしてみました。一目散にアポロンの元に戻った鳥がことの次第を告げ、それに激怒したアポロンは、痛みを籠もる矢を射放ちました。その矢は遙か遠くのコローニスの胸に刺さり、コローニスは死んでしまいました。一時の怒りが治まったアポロンはテッサリアに向かい、死んだコローニスを抱いて、腹の内から赤ん坊を取り出しました。アポロンはこの赤ん坊を、半身半馬のケンタウロスのケイローンに預けました。ケイローンは、有徳の老人で、医療の術に長けており、彼の教育を受けるうちに、アスクレピオスは養父にも優る卓越した医療の腕前を獲得するに至りました。一方、誤った情報を伝えた鳥は、アポロンの怒りを買って、真黒い羽を身に纏い、コローニスの喪に永久に服さなければならなくなり、現在に至っています。

アスクレピオスの医術に対する熱心さは、人々を感動させるものがあり、人を救うのに熱心なあまりについて死者を蘇らせてしまいました。その死者はテーセウスの子であるヒッポリュトスという若者です。ヒッポリュトスは、アポロンの妹のアルテミス神に、熱心に奉仕するがあまり、美と愛の神であるアプロデーテ神が彼に嫉妬し、ヒッポリュトスの義母のパイドラーが彼に恋をするように仕向け、パイドラーはヒッポリュトスに恋をしてみました。パイドラーはミーノースの王女で誇り高く、強い性格の持ち主で、ヒッポリュトスへの激情を抑え続けていましたが、日ごとにやつれ、衰えていきました。それを見ていたパイドラーの乳母が彼女の心底を察し、ヒッポリュトスに会い、秘密を守ることを誓わせて、彼女の本心を伝え、彼女の思いを叶えてくれと懇願しました。しかし、一本気な青年がこの頼みを聞き入れるはずもなく、激しく乳母を責めたため、その声のパイドラーのもとに届いてしまいました。もう彼女に生きてゆく喜びも望みもありませんでした。彼女は夫 テーセウスに遺書を残し、そこにヒッポリュトスが自分に邪な恋をしかけ、辱めを受けたゆえにと記して自殺してしまいました。旅から戻ったテーセウスは、全て息子の所業と思い込んで激怒しました。しかし、ヒッポリュトスはパイドラーの乳母との誓いを守り、真実を父に話しませんでした。

ポセイドーンの神の子であるテーセウスは、ポセイドーン神から許された3つの願望の一つをヒッポリュトスへの呪いに当てました。ヒッポリュトスが馬に乗っている時、突然海中から怪獣が現れ、巖に体を打ちつけ、致命傷を負いました。その後、父の面前に運ばれ、その罵りを浴びても、ヒッポリュトスは全ての人の罪を許し、降臨したアルテミス神によって昇天しました。後に真相を知った父 テーセウスはただ悔恨と悲痛とに胸をさいな

まれるのみでありました。

このヒポクリュトスの一旦黄泉に赴いたかに見られた生命がアスクレピオスにより、またこの世に引き戻されました。しかし、このことは、自然の理法に背いた不当な侵害でありました。冥府の王 プルトーンは、当然厳しい抗議を兄ゼウスのもとへ提出し、ゼウスは雷火を遣り、アスクレピオスを焼き亡ぼしてしまいました。この伝説は、医術は自然の経過を妨げるべきではない、死者が蘇ってはいけないという教えであったのです。この事件の後、アスクレピオスとヒポクリュトスはゼウスにより神に変えられました。その後、アスクレピオスは医療の神として広く信仰され、広がっていきました。

本来、医学、医術とは、常に人間の悩みに対応し、慰めることが出来、時に救い、まれに癒すことが出来るというものがあつたのですが、現代の医学、医術は、常にできることは、悩みに対応する慰めなのに、稀にしかできない癒しを看板に掲げたところに医学の宿命的な辛さがあるのです。

紀元前 4 世紀、ピポクラテスは、体は常に全身で、病気は常に一つであり、その病気は体を作る成分、すなわち体液の乱れから起こると考えていました。医師の仕事は、自然治癒のチャンスを与えることであり、自然治癒を妨げるものを取り除けばよいという考え方で行われていました。

しかし、その後、人間は不老長生を望み、稀にしかできない癒しの学問を発達させてきましたが、人間の要請と科学的な実現能力には絶望的な隔りがありました。

こういう限りない願望に疑問を表明する人が 16 世紀のトマス・モアを始めとして数多く出てきています。1999 年、日本の伊岐和男は、こう詠いました。物理学の永久機関が不可能であるのと同じく、万物の生命は未来有限であるからして、「他者愛の臓器享けても生くべきや さほどの『生』のこの世にありや」と。人間はどんな長生きしても 120 歳までであり、現代の医療で治すことの出来る病気は一割しかないのです。限りある人の生命と限りある医術、限りある医療費、この限りあるということは、人間が深層で望む不老長生が不可能である、つまり「否定する、断念する」という理論が、医学、医療に必要となってきたのです。

現代社会において、世界人口は 1971 年 36 億、1999 年 60 億、2011 年 70 億と増加しています。地球上の食糧、土地、埋蔵資源は限られており、さらに核汚染、化学汚染などの無数の汚染因子が人間の活動に伴って自然環境に放棄されて、環境破壊が進んできています。

モリエールは「患者の大部分は病気のために死ぬんじゃなく、薬のために死ぬんです」と忠告し、ホームズは「今使われている薬を全て海の底へ投げ込むがいい。魚には迷惑だが、人類には大きな福音となろう」と言っています。アイバン・イリッチは、「サリドマイドによる奇形児や医療ミスによる医原病が新たな流行病となって人々を苦しめている」と述べています。増加し続ける莫大な医療費、それは中途半端に進歩し続けている医療に対するお金の積み重なった結果であり、中途半端に進歩した難しい医療を行うことによる医療ミスは、医者、患者両方を苦しめています。

今こそ人間は、これからの医学、医療をどのようにして行かなければならないのかを考えなければいけません。医学には否定、断念の論理は許されないと考えられてきましたが、果たしてそうなのでしょうか。私は違うと考えます。これからは一人一人が否定、断念の考え方をもち、この患者の治療はここまでにしましょう、または、ここまでに諦めましょうという指標を作っていくことが今後の医療に必要と考えます。

12月26日ロータリー・ソング

それではロータリー

東京 RC  
作詞・作曲 矢野 一郎  
東京 RC  
ピアノ伴奏・編曲 野田 精一

一、どこで会っても やあと言おうよ

見つけたときにゃ おいと呼ぼうよ

遠い時には 手を振り合おうよ

それでこそ ローロータリー

二、顔笑顔を 語り合おうよ

心で 結び合おうよ

みんな世の為 働らき合おうよ

それでこそ ローロータリー

三、どこの国にも友が居るよ

みんな一つの輪になろうよ

同じ心で 親しみ合おうよ

それでこそ ローロータリー

表紙について

船久保孝志君 [1949(昭和 24)年 11 月 29 日生]

- 11 月 29 日・この日何の日？
- ・「いい肉の日」、「いい服の日」:
- いい(11)にく(29) いい(11) ふく(29)の語呂合せ
- ・議会開設記念日 : 1890(明治 23)年のこの日、前年の大日本帝国憲法発布を受けて初の帝国議会が開かれた
- 11 月 29 日・この日誕生は？
- 勝新太郎(俳優) 1931 年 車寅次郎(映画登場人物) 1940 年

三條南ロータリークラブ週報  
2011.12.12  
No.2019 No.19